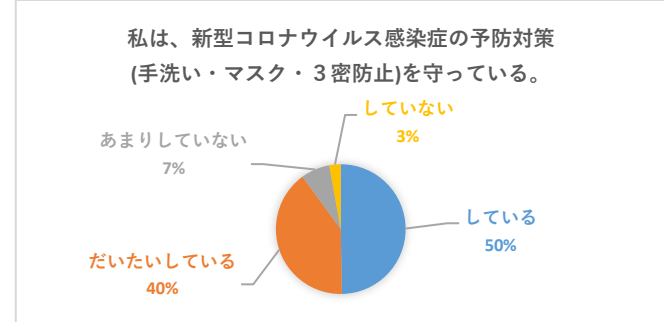
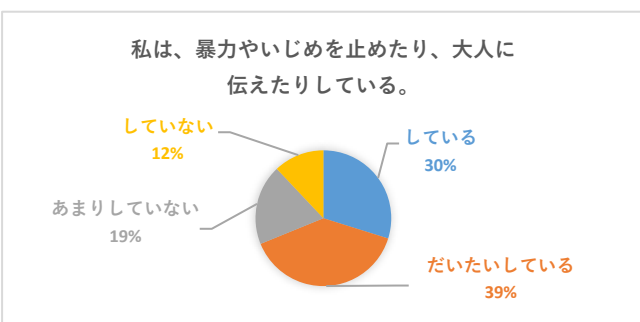
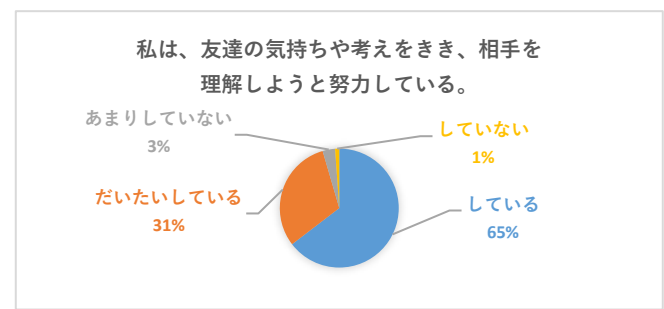
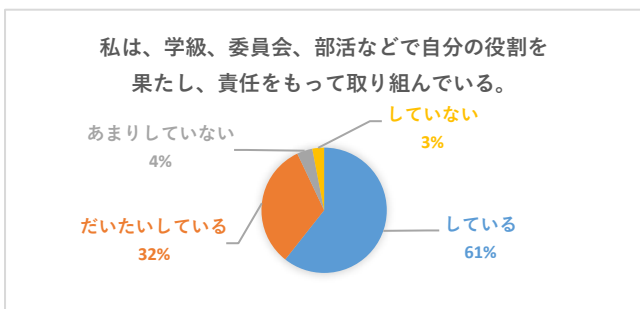
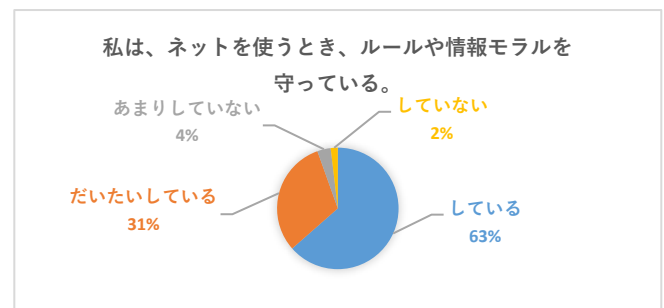
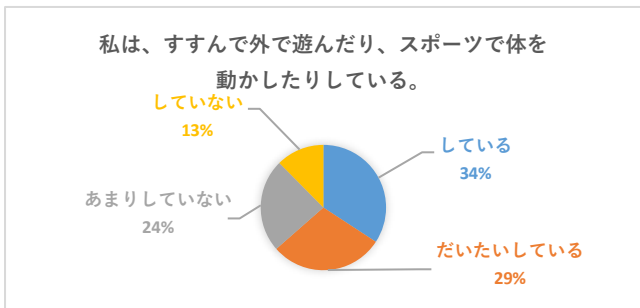
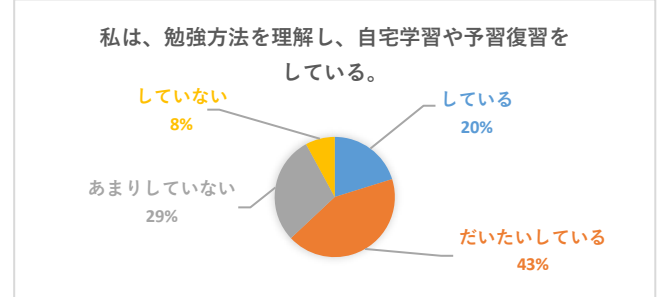
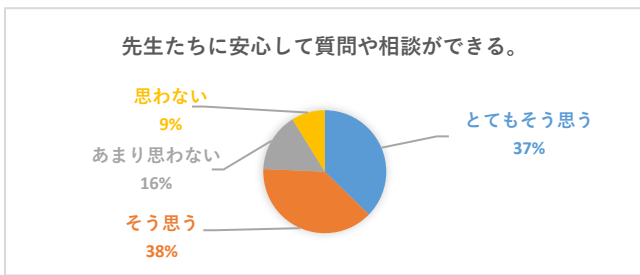
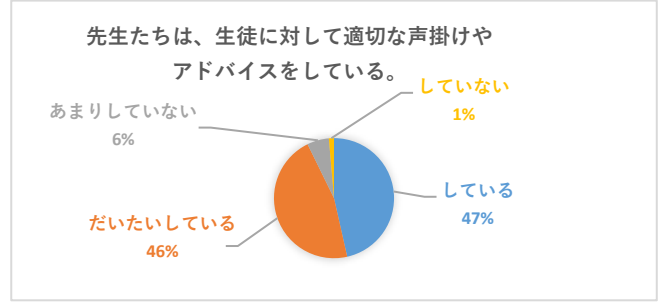
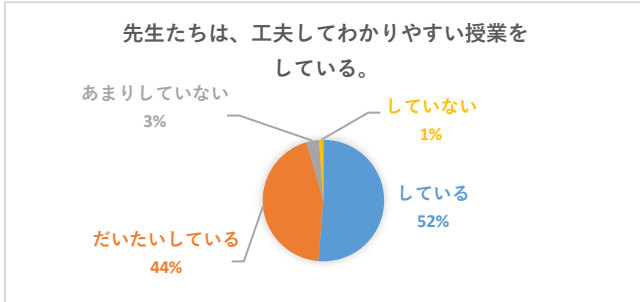


学校評価アンケートへのご協力をいただきありがとうございました。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、昨年に引き続き、ご来校いただく機会が少ない中のアンケートでしたので、評価が難しい設問もあったかと思えます。お寄せいただいたご意見等も含め、全職員で内容を共有いたしました。今年度の取組の振り返りと次年度へ向けた改善に活かしてまいります。

〈生徒アンケートの結果〉



生徒アンケートでは、①学校、教職員の授業や指導に関すること ②生徒の生活習慣や意識 に注目し、分析・考察を行いました。

### ①教職員の授業や指導について

授業においては、「工夫してわかりやすい授業をしていると思う」、「だいたいしていると思う」が9割を超え生徒たちが授業を理解しやすいような各教科の工夫が行われており、今後も生徒の興味関心を高め、丁寧な授業の展開を意識し、教員の授業力の向上を心掛けていきたいと考えます。

悩みや相談などへの対応には、適切な声掛けやアドバイスができていると感じている生徒が9割を超えてはいますが、安心して質問や相談ができると感じている生徒が7割程度であり、中学生という多感な時期の多種多様な心の悩みに対して、より一層、寄り添い充実した相談活動を心掛けていきたいと思えます。

### ②生徒の生活習慣や意識について

ほとんどの生徒が規則正しい生活をできており、新型コロナやインフルエンザなどの感染症対策にも、生徒が必要な予防対策に協力してくれています。学校では、今後も引き続き安全で安心な学習環境を維持してけるように努めてまいります。

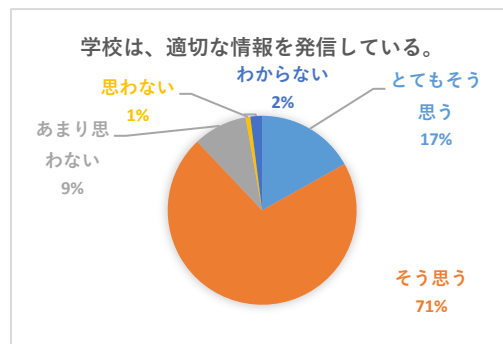
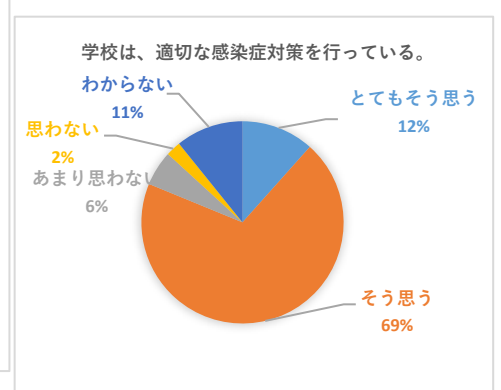
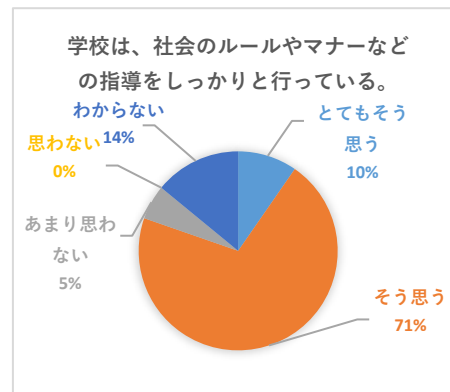
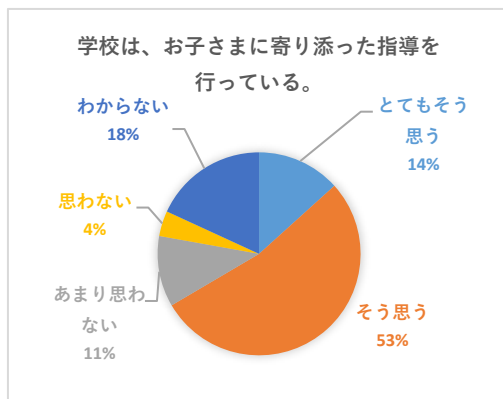
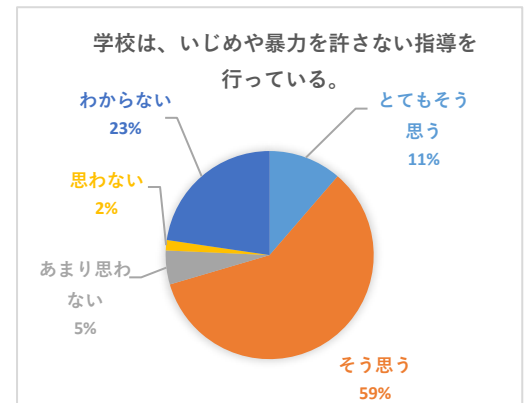
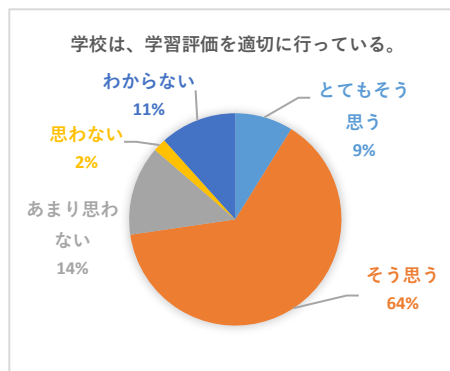
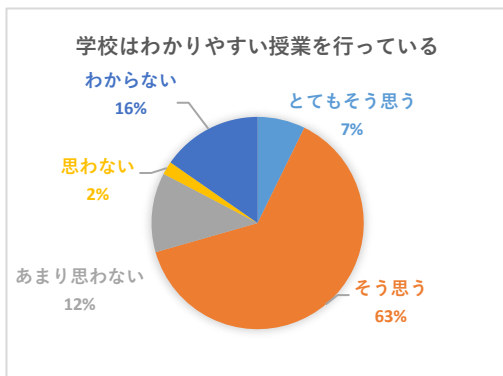
友達の気持ちや考えを聞き、相手を理解しようと努力している生徒の割合がほぼ100%に近い値になっており、本校の生徒の優しい心を反映させていると思えます。携帯電話などのインターネット機器の使用に関するトラブルについては、どこの学校でも憂慮すべき課題ですが、本校でもネットを介したトラブルが発生しています。ネット使用時のルールや情報モラルを守っているかとの質問には、9割を超す生徒が「守れている」「だいたい守れている」と回答していますが、本校においても、適宜、ネットトラブルについて指導をおこなうものの、実際のトラブルになってしまうケースもあり、いじめにつながってしまう場合もあることから、今後もルールや情報モラルについて、継続的な指導と啓発を行っていきたいと思えます。

家庭での学習については、約4割の生徒が実施していない、あまりしていないという現状です。授業での学びを振り返り、確かな学力を取得するため、保護者の理解と家庭学習の充実をお願いしてきたいと思えます。

コロナ感染症の影響で在宅時間も増えたためか、すすんで屋外で運動を行う生徒がここ数年減少傾向にあるといわれています。アンケート結果からも、外で遊んだり、スポーツをして体を動かす生徒の割合が6割弱となっています。発育、発達期の心身が健全に成長するよう、部活動のみならず、晴天時の昼休みなどはグラウンドなどで積極的に体を動かすよう推奨していきます。

## 〈保護者アンケートの結果〉

保護者アンケートでは、①授業や評価に関すること ②生徒に対する指導、対応 ③その他の項目に対して分析・考察を行いました。



### ①授業や評価に関すること

授業に関する保護者の見解としては、「わかりやすく工夫された授業を行っているか」の質問に対して、約7割の保護者の方からのご賛同が得られました。一方で、授業を参観していただく機会が減少しているとはいえ、「とてもそう思う」の割合を見ると1割にも満たず、PDCAを適切に行いながら、授業改善に努め、より工夫された授業を展開していく必要があります。また、指導と評価の一体化を図り、より評価の精度を高めて必要性があると認識しています。学校としては、学びの深化や連続性を図るためにも、家庭学習の充実も不可欠であると考えており、さまざまな機会を通じて、保護者の方への協力もお願いをしていきたいと考えています。

### ②生徒に対する指導、対応

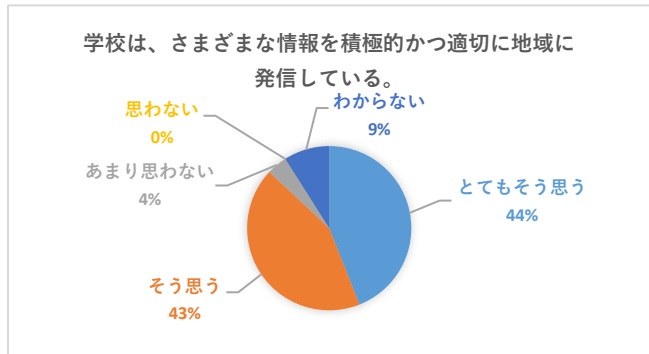
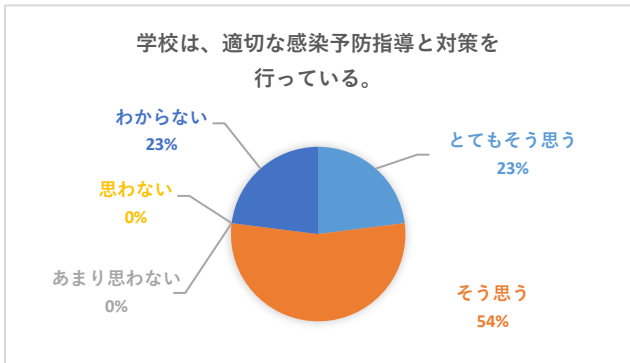
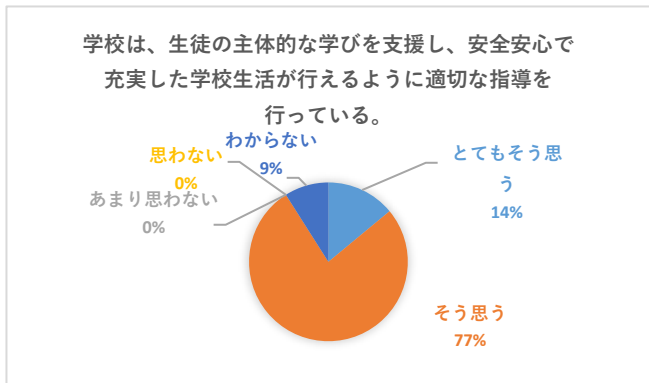
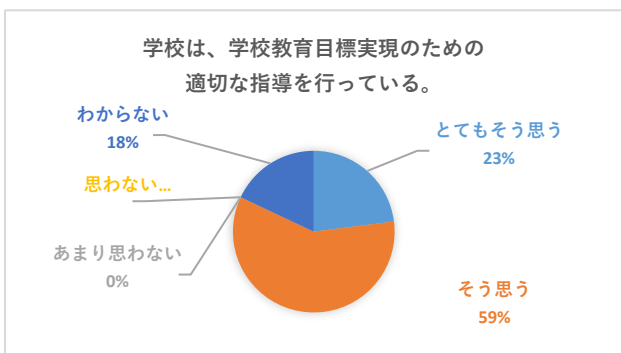
次に生徒に対する指導や対応についてのアンケートでは、社会に必要とされるルールやマナーなどの指導を適切に行っていると回答した保護者の方は約8割に達したとはいえ、いじめや暴力を許さない指導や個々の生徒に寄り添った指導を行っているかのアンケートには、約7割程度の賛同にとどまっていることが読み取れます。

これは、さまざまな場面での職員の投げかけや適切な対応にまだまだ課題があると、保護者の方が認識されている現れであると、真摯に受け止めていく必要があると考えます。生徒の心に寄り添った適切な指導が適切なタイミングで行えるように、保護者の方とも深く連携し、情報の共有を図りながら指導・対応を行っていきたいと思います。また、日常的な教育相談と定期的な教育相談の実施により、課題の早期発見や解決を図れるように、生徒との人間関係を構築していきたいと思います。

③その他の項目に対して

コロナ過でなかなか保護者の方の来校が少ない1年間でした。その中でも、感染症対策を講じながら、可能な参観を実施してまいりました。感染防止対策については、学級閉鎖の学級はありましたが、大規模な学年閉鎖や学校閉鎖を行うことのない1年間で、高い評価を頂きました。まだまだ油断できない状況ですが、必要な感染防止の対策を検討し、生徒が安全、安心して生活できる学校を維持していきたいと思います。必要な情報の発信については、状況を判断しながら適切な伝達手段を用いて、スピーディーに対応する努力を続けていきたいと考えています。

〈地域アンケートの結果〉



今年度も、旧錦台中学校懇話会の皆様に学校の取組について、アンケートにご回答をいただきました。いずれの設問にも高い評価を頂くことができました。令和4年度は、地域と学校がより結びつきを深めて学校運営を行うため、学校運営協議会が設置されました。11月には、錦台中小委員会で授業の様子をご覧いただき、協議会では貴重なご意見を頂きました。地域の一員として成長できる生徒の育成、学校運営を目指し、地域、家庭と協働する中で生徒が安全安心に学ぶことができるように職員で共通認識を深め、引き続き教育活動の活性化を目指していきたいと思います。

皆様のご意見を来年度以降の教育活動や教育課程編成に活かし、更に充実した学校教育が展開できるよう努力してまいります。ご回答いただきました保護者の皆様、地域の皆様、ご協力ありがとうございました。

以上の内容について、学校運営協議会にて評価を頂きました。おおむね学校の取組について肯定的な評価を頂きました。しかし、生徒アンケートの中の「先生たちに安心して質問や相談ができる」という設問に対して、「そう思わない」と回答しているという点に着目することは大切であると指摘を頂きました。指摘を真摯に受け止め、全職員に周知した上で、相談活動のさらなる充実を図れるように一層生徒に寄り添い、相談しやすい生徒と職員の信頼関係の構築に努めてまいります。